

# 近畿大学教養・外国語教育センター紀要

(一般教養編)

第13巻 第1号

KINDAI UNIVERSITY  
CENTER FOR LIBERAL ARTS  
AND FOREIGN LANGUAGE EDUCATION JOURNAL  
(LIBERAL ARTS EDITION)

Vol.13 No.1



2023

近畿大学教養・外国語教育センター



近畿大学  
教養・外国語教育センター紀要  
(一般教養編)

第13巻 第1号

2023

近畿大学教養・外国語教育センター

KINDAI UNIVERSITY CENTER FOR LIBERAL ARTS  
AND FOREIGN LANGUAGE EDUCATION JOURNAL  
(LIBERAL ARTS EDITION)

2 0 2 3

KINDAI UNIVERSITY CENTER FOR LIBERAL ARTS  
AND FOREIGN LANGUAGE EDUCATION

近畿大学教養・外国語教育センター紀要（一般教養編）

第13巻 第1号 2023

目次

■ 研究資料

様々な運動習慣が健康度と生活習慣に与える影響について

—大学生を対象とした1週間の身体活動量からみた健康度と生活習慣調査—

田中 ひかる, 佐川 和則 1

情報通信技術を活用した保健の模擬授業実施者に対するアンケート調査

: X大学の保健体育科教員養成課程を事例に最良の情報通信技術の活用を目指して

寺田 進志・永野 翔大 13

■ 実践・事例報告

『笑うスポーツ』によるスポーツの楽しさを伝える取り組み（第II報）

—「笑うスポーツ体験会」から見てきた課題—

橋本 剛幸 29

新型コロナウイルス影響下における北海道の総合型地域スポーツクラブの実情

: X町のYクラブを事例に

寺田 進志 41



KINKI UNIVERSITY  
CENTER FOR LIBERAL ARTS  
AND FOREIGN LANGUAGE EDUCATION JOURNAL  
(LIBERAL ARTS EDITION)  
Vol.13 No.1

## CONTENTS

### Materials

*Hikaru Tanaka and Kazunori Sagawa*

Effects of various exercise practices on health levels and lifestyle

: Survey on the health and lifestyle of university students based on weekly physical activity

1

*Michiyuki Terada and Shota Nagano*

A questionnaire survey of health trial lesson using information and communication technology

: Toward the best use of information and communication technology as a case study of the health and physical education teacher training course at X university

13

### Practical investigations and case studies

*Yoshiyuki Hashimoto*

Efforts to convey the joy of sports through "laughing sports"(Part2)

– Issues revealed by the "Laughing Sports Experience Event" –

29

*Michiyuki Terada*

The actual circumstance of a comprehensive community sports club in

Hokkaido in covid-19: a case of Y Club in X town

41

## 教養・外国語教育センター紀要（一般教養編）の 投稿・編集・発行等に関する細則

教養・外国語教育センター「近畿大学教養・外国語教育センター紀要（一般教養編）」(以下「本紀要」という)の投稿・編集・発行等に関して、次のとおり定める。

### 1 紀要発行

- (1) 広報出版委員会（以下「本委員会」という）は、毎年度1回、「本紀要」を発行する。
- (2) 必要に応じ、「本紀要」の特集号、増刊号を編集し発行する。

### 2 原稿作成

- (1) 原稿作成は、各専門分野の慣例を尊重し、それに従うことを基本とする。
- (2) 投稿原稿は、ワープロソフトで作成するものとし、ページおよび行番号をつけるものとする。
- (3) 原稿は次の分量を目安とする。
  - ①和文の場合：A4判横書き、40字×30行の設定で、欧文抄録を除き、本文、引用文献、注等を含めて25枚以内。
  - ②欧文の場合：A4判12ポイント30行の設定で、欧文抄録を除き、20枚程度、本文、引用文献、注等を含めて25枚以内。
- (4) 図・表・写真の取り扱いは原則として次のとおりとする。
  - ①図・表・写真は必ず、A4判以内の大きさでそのまま印刷が可能な原稿とし、写真は白黒のものとする。
  - ②図・表・写真は、その大きさが刷り上がりと同様になるように作成する。
  - ③図・表・写真にはそれぞれ通し番号とタイトルをつけ、本文とは別に番号順に一括する。
  - ④図・表・写真の挿入箇所は、本文中にそれぞれの番号を明記する。
- (5) 注及び引用・参考文献の記載については、原則として次のとおりとする。
  - ①注には通し番号を付し、本文の該当箇所には、アラビア数字と片括弧をつける。
  - ②引用が、文全体にかかる場合、句読点などの後に、その指示をする。
  - ③引用文献は、本文最後に著者名のアルファベット順に一括する。
  - ④雑誌は、著者名（発行年）、タイトル、誌名、巻（号）ページとする。
  - ⑤単行本は、著者名（発行年）、書名（版数、ただし初版は略）、発行所、発行地、引用ページ（p. または pp.）の順に記載する。

⑥インターネットからの参考文献の記載については、使用ドキュメント名と著者名及び日付けを明記する。ホームページ、URL は著者名、ドキュメント名の後にあげる。

(6) すべての原稿には表題、著者名、所属の欧文を添付し、原著論文には、200 語以内の欧文抄録を添付する。

### 3 投稿原稿

(1) 投稿原稿は以下の種類と内容で、未発表のものに限る。

①総説

②原著論文

③研究資料

④実践・事例報告

⑤研究・教育上の問題提起

⑥その他（特集記事、新資料の紹介や書評、シンポジウム報告など）

(2) 投稿者（筆頭著者）は、本学教養教育担当専任教員、同専任教員の推薦を受けた本学非常勤教員及び本委員会で投稿を認められた者とする。

(3) 投稿原稿は、原本に 2 部の複写を添付して、本委員会が指定する期限までに、本委員に直接提出しなければならない。原稿は、プリントアウトした原稿 3 部とともに、電子メールに添付して提出する。その際、パソコン OS の種類及び、ソフト名を明記する。

(4) 著者が投稿原稿を委員に提出した日を、「原稿受付日」とし、掲載決定日を「原稿受理日」とする。

### 4 採否決定

(1) 編集委員会は、必要に応じ臨時委員を加えて、受理した投稿原稿の採否を審議する。

(2) 編集委員会は、必要に応じ著者に対して原稿の訂正、修正、加筆等を求めたうえで、原稿の採否を決定する。

(3) 採否を決定した原稿の掲載順序は、編集委員会が定める。

### 5 著作権

「本紀要」に掲載された論文等の著作権は、近畿大学全学共通教育機構「教養・外国語教育センター」に帰属するものとする。



## 6 校正

- (1) 著者が行う校正は、原則として第2校までとする。
- (2) 校正の期間は、初校、2校とも1週間以内とする。期間に間に合わない場合は、原則として、その原稿は、次号回しとする。
- (3) 校正の段階での著しい訂正、修正、加筆等は禁止する。校正の段階で、大幅な訂正、修正、加筆等が必要になった場合は、その原稿は次号以降、再度、採否を審議、審査する。

## 7 公開・管理

- (1) 本委員会は、作成された紀要の電子ファイルを「近畿大学学術情報リポジトリ」において公開する。
- (2) 他大学等から送付されてきた紀要類は、本委員会が管理する。

### 附 則

この細則の改正は、広報出版委員会において行う。

この細則は、平成29年5月21日から施行する。

### 執筆者紹介（掲載順）

田中 ひかる	近畿大学経営学部
佐川 和則	近畿大学経営学部
寺田 進志	大阪国際大学人間科学部
永野 翔大	東海学園大学スポーツ健康科学部
橋本 剛幸	近畿大学経営学部

### 編集委員会

佐川 和則（委員長）	経営学部教授
西田 順一（副委員長）	経営学部教授

## 編集後記

近畿大学教養・外国語教育センター紀要（一般教養編）第13巻第1号をお届けします。今回は健康・スポーツ科学の分野から4編の投稿をいただきました。

運動・スポーツが健康に対して有益であることの証拠は数多くの研究によって積み重ねられてきています。運動は慢性疾患の予防と治療に有力な手段であるばかりでなく、最近では、精神的健康にも好影響を及ぼすことが明らかになりつつあります。このような「exercise is medicine」という考え方は広く浸透してきていますが、それでも世界中の多くの人が運動不足の状態にあります。そのため、健康への効用を運動することだけでなく投葉によってもたらそうとする「運動模倣薬（exercise mimetics）」の研究が限定的ながら実施されているようです。

スポーツについても、実際に体を動かすことなく仮想空間内でプレーする人々が増えており、その競技人口は実際のフィールドでプレーする人口を上回る可能性さえあります。

このような状況のもと運動・スポーツの研究はどこへ向かって進んでいくのでしょうか。本誌もさらなる運動・スポーツの発展に貢献できることを願ってやみません。

末筆ながら、今回執筆いただきました著者の皆様はじめ論文審査にあたり遅滞なくご協力いただきました審査員の方々へお礼申し上げます。

（佐川和則）



---

近畿大学教養・外国語教育センター紀要（一般教養編）

第13巻 第1号 2023年

令和5年3月20日 印刷

令和5年3月31日 発行

発行人 戸井田 克己

発行所 近畿大学全学共通教育機構  
教養・外国語教育センター

577-8502 東大阪市小若江3丁目4番1号

印刷所 株式会社 近大アシスト

---

KINDAI UNIVERSITY  
CENTER FOR LIBERAL ARTS  
AND FOREIGN LANGUAGE EDUCATION JOURNAL  
(LIBERAL ARTS EDITION)

3-4-1 Kowakae, Higashiosaka-shi, 577-8502 Japan

---

ISSN 2185-7032



近畿大学  
KINDAI UNIVERSITY